

神流マウンテンラン&ウォーク

施策のポイント

トレイルランニングは、その名の通り森林・原野・山地などを走るレースで、自然豊かな場所でなければ開催が不可能である。林野面積が約80%を占める当町においては、自然を活かしたイベントである。

自治体情報

群馬県神流町

人口 / 2,556人

標準財政規模 / 1,828,228千円

担当課 総務課

電話番号 代表 0274-57-2111 内線 118

実施主体 神流マウンテンラン&ウォーク実行委員会

関連ホームページ <http://kanna-mountain-run.com/index.html>

事業期間 平成21年度から

参考とした施策 菅平スカイラントレイルレース 等

関係施策分類 ① ② ⑥_上

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

世界的に有名なトレイルランナーであり、群馬県職員でもあった鎬木毅氏のプロデュースのもと、みかぼ山系を活用したトレイルランニングを行い、集客と神流町を代表するイベントの一つとして位置づけるとともに町の活性化を図ることを目的に神流マウンテンラン&ウォークを実施する。



2 取り組みの具体的内容

実行委員会・幹事会の開催、コース整備、大会広報・PR、参加者受付、町内関係機関との受入態勢の協議、国・県・その他関係機関との協議、会場整備、その他大会運営に関する事項。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

大会前日より、山村体験プランやウェルカムパーティーの実施や町内の旅館・民宿への宿泊や地元商店で利用できる商品券をキャッシュバックとして配布することにより地元商店への経済効果を期待した。大会終了後、算出した経済効果としては、推定17,500千円を産みだした。

4 現在までの実績・成果

平成21年11月に第1回大会を実施し、ロング・ミドルコース併せて約340名の方に参加していただいた。大会前日にはウェルカムパーティーを行い神流の郷土料理を提供し、大会当日は、キャッシュバックとして地元商店で利用できる商品券の配布や標高1000mの持倉集落（いわゆる限界集落）のエイドで花豆や手打ちそばを振る舞い、官民一体となった神流町ならではのイベントとなった。

参加者からは、ネットやメール、手紙を通じて、沢山の高評価をいただいた。



5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

第1回大会であったため、全てにおいて試行錯誤の状態であったが、特に関係機関、土地所有者、自然保護団体と協議しながらのコース設定や大会当日が狩猟解禁日と重複したことによる警察との協議及び安全対策等に時間を費やした。

6 今後の展開と課題

平成22年度に第2回大会が開催され、優勝者1名を副賞としてフランスのトレラン大会に派遣するとともにフランス大会の優勝者を11月に開催する神流マウンテンラン&ウォークに招待し、フランスとの交流を深めることとなった。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳 (財源区分：①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
1,600千円		0千円	300千円	0千円	0千円	1,300千円
①～④の名称、 所管など	名称		地域振興調整費補助金			/
	所管		群馬県			
	金額		300千円			
	補助率					